

民児協 さかえ



発行 栄町民生委員児童委員協議会

〒270-1592 栄町安食台1丁目2番

第 10 号

栄町役場 福祉・子ども課内 平成31年3月1日

民児協 研修会

民生・児童委員活動の現状と留意事項

近年、栄町においても住民の抱える生活課題や福祉課題が多様化しています。身近な相談相手である民生・児童委員に寄せられる相談内容も多岐にわたっており、生活者の立場に立った援助が求められています。

地域福祉の推進の担い手として、これらの要請に応えるため資質をさらに高める取り組みとして、私たち民生・児童委員協議会は毎年計画的に研修を実施し、職務に必要な知識、技能の向上に努めています。



講師

大野 トシ子 氏

役 職

千葉県民生委員児童委員協議会会长
全国民生委員児童委員連合会副会长
千葉県社会福祉協議会副会长

平成30年10月16日、栄町役場5階大会議室において、千葉県民生・児童委員協議会会長の大野トシ子氏をお招きし講演をしていただきました。

同氏は、流山市の民生・児童委員協議会の会長でもあり、自らも精力的に担当地区での活動を行うとともに、市内の民生・児童委員が毎月提出する活動報告書にも目を通して現状を把握されています。

講演の中で、問題としてまずあげられたのは、高齢化が進んでいます。

全国にいる23万1千人の民生・児童委員も高齢化しており、後継者が得られず、欠員となってしまう地区が少なくないことがあります。

次に指摘されたのは、民生・児童委員は一般のボランティアと異なり、非常勤の地方公務員扱いには細心の注意が必要になります。従つて守秘義務が課せられ、個人情報の公平性と中立性が求められることがあります。活動にあたっては特に守り、また委員個人では解決できることもあり、その際には行

政や関係機関との連携が大切であることなど体験談や事例をあげ、分かりやすく説明していました。

民生・児童委員の日常活動の留意点についてご指導いただき、直接お話を聞くことができましたことは、私たち栄町民生・児童委員協議会のみならず、栄町役場福祉・子ども課の担当職員や栄町社会福祉協議会事務局員にとっても得がたい経験になりました。

(研修部)



大野会長を迎えて開かれた民児協研修会

学校と地域の連携を進めていくために

学校では、地域に開かれた学校の一環として、家庭・地域の方々と様々な教育課題や身近な問題について話し合う場を設け、地域の声を学校運営に生かしています。

私たちは子どもたちの健やかな成長を願い、積極的に参加し、協力をしています。

安食小学校

今年度開催の地域ミニ集会では、「携帯・スマホ等利用ガイドライン」についてというテーマのもとに3グループに分かれて協議が行われました。

グループ協議終了後、各グループからは「ガイドラインがあると子どもを守る一定の効果がある」「子どもにわかりやすい表現のガイドラインを」「大人は通信機器やネットワークについての知識を十分を持つ」「顔を合わせて話すことの大切さを理解させる」などの意見が発表されました。



取材 近藤 康夫（安食地区）

布鎌小学校

今年度の地域公開では、初めに合唱部の発表があり、きれいな歌声と言葉を大事にした表現に参加者一同感動を得ました。その後、授業参観が行われ、4年生以上は、合同授業「学校で考えよう 動画配信の罠」を視聴し専門家からの質問に一生懸命考え自分の意見を発表していました。ネットの怖さを感じるとともに情報発信には十分気をつけなければならないことが理解できたようです。参観者も子どもを見守る体制が大事だということを再確認しました。



取材 小島 洋子（布鎌地区）

安食台小学校

平成30年度第3回民生・児童委員、学校評議員合同会議が開催され、学校教育の目標、教育活動、地域との連携、子どもたちの様子、学校の取組みの評価などについて意見交換を行いました。

星校長からは、「体育科公開授業研究会の開催、修学旅行の報告がなされた後、「小学校では黒板に書いたことを覚えなさいではなく、考えることを身につけ楽しく学び、児童自身が答えを見つけるような教育をしていきたい」とのお話がありました。



取材 伊藤 幸雄（安食台地区）

竜角寺台小学校

2020年度からスタートする「新学習指導要領に沿った新しい学び」と成田空港に近く、オリンピック・パラリンピック等を見据えた外国語活動において、①失敗をおそれない、②あきらめない、③楽しく、の3つの決まりがある事の説明を受けて、デモ授業体験が行われました。各自パスポートを作成し、出入国のスタンプシールを貼り、各国の物産に触れるツアーを片言の英語で楽しむ企画でした。

こんな楽しい授業なら子どもたちも大喜びですね！



取材 高野 秀代（竜角寺台地区）

「地域福祉の推進と民生・児童委員の役割」という内容で順天堂大学先任准教授の松山毅氏の講義でした。

以前は、社会福祉問題は、基本的には、家族・社会保険・社会福祉制度によって解決されると思われていましたが、制度ができれば必ず隙間ができる。それを地域で補つていかなければならぬ。そこで地域社会の実態把握に民生・児童委員の役割が期待されています。声をかけてくれる人、気にかけてくれる人の存在が不可欠であり、民生・児童委員の役割が重要であると感じさせられた講義でした。演習では他地区の方々とお話ししができて有意義でした。



左から岡田町長、秋山委員、湯原課長

永年勤続表彰

受賞にあたつて

秋山 優子（安食地区）

全国民生・児童委員連合会より、永年勤続表

彰を頂きました。

私が就任した当時と比べ、栄町は子どもの数が減り、高齢化率が35%とますます高くなっています。そうした中で民生・児童委員の重要性は不可欠になっています。地域の住民に寄り添い身近な相談相手となり、行政や社会福祉協議会等へと繋ぐパイプ役として活動しています。皆様と同じ立場で考え、困りごとと一緒に解決していきましょう。

千葉市文化センターで開催された研修会に参加してきました。

二部構成で前半は、「障害者差別解消法、障害者虐待防止法」一人ひとりを大切に」という内容で弁護士の佐久間水月氏の講義でした。社会には色々な人がいる、相互に影響し合って生きている、互いに理解し、譲り合い、分かち合い、支え合うことの大切さを学びました。

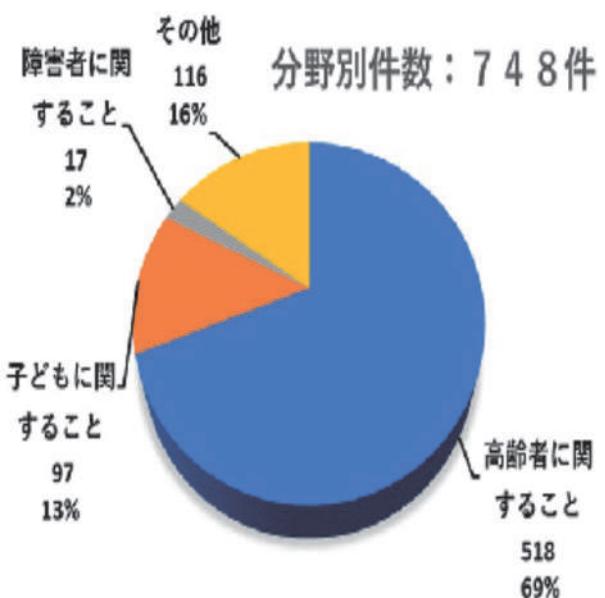
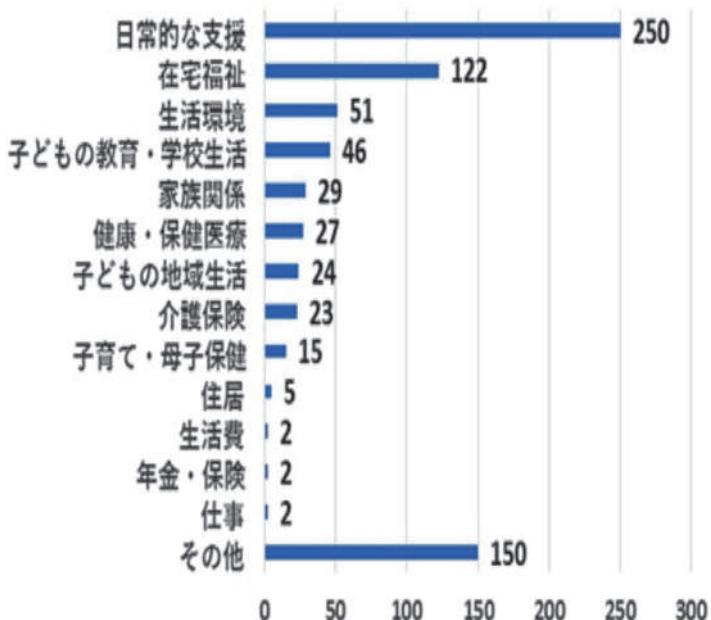
後半は、「地域で暮らすひとり親家庭の支援」という内容で淑徳大学教授の稻垣美加子氏による講義でした。ひとり親家庭福祉の視点から、様々な事例を取り上げての講義でした。後半ともに大変有意義な研修でした。

眞田 幸夫（安食地区）記

中堅民生・児童委員研修レポート

私たちは、皆様の身近な相談相手として福祉に関する情報提供や生活支援のお手伝いをしています。

内容別件数: 748件





問題解決の進め方研修

9月の民生・児童委員定例会において、福島民生委員を講師に迎え、私たちが抱える問題をどう解決したら良いかについて研修を行いました。問題の種類は「発生型」「設定型」「将来型」があることによって、各自の考えを可視化して、問題を共有し分類して解決する手立てを学ぶことができました。今回は「K・J法」の実習を通して、委員各自が感じている問題を箇条書きにして大きな模造紙に貼り、共通するものをカテゴリ別に整理していく手法で、互いに共有できる問題や解決に取り組む優先順位や方法を客観的に明確にすることができました。

塩田芳久（布鎌地区）記

各グループごとに検討テーマを決め、問題点をカードに記入し解決方法を導き出す「K・J法」実習の様子



子ども会活動

子どもがひとりで留守番中に地震が起きたらどうする？

竜角寺台は、共働き家庭が多い地域です。夏休みの8月3日消防署員による防災のスライドやお話ををしていただき、また赤十字奉仕団には復習を兼ねた防災ゲームを楽しくしていただきました。質問コーナーでは、難題、珍題で笑つたり感心したりの一時でした。

坪井正子記
(竜角寺台地区)

地域で育つ子どもたち



奉納相撲大会

秋晴れの10月20日、布鎌小・町内の有志小学生による奉納相撲大会が実施されました。当日は千賀ノ浦部屋の親方や栄町出身力士の舛乃山ほか2名の力士が参加してくれました



「経済的に困つて
いる、仕事が決ま
らない、住む場所
がない、ひきこも
り」など、生活に
お困りの方の総合
相談窓口として千
葉県より委託され
ている事業所です。

さかえ・しすいワーク・ライ
サポートセンターとは

支援員が相談を受けて、どのような支援が必要かをあなたと一緒に考え、具体的な支援プランを作成し、寄り添いながら自立に向けた支援を行います。

- ・ 日時（毎週金曜日 9時～16時）
・ 場所（栄町社会福祉協議会 栄町役場2階）
〔相談例〕

揭示板



編集後記

広報紙第10号をお届けします。今回は、民生・児童委員協議会が定例会でどのような研修を行い、活動に役立てているかを一部紹介いたしました。また、学校が地域と連携している様子や皆様からわたくしどもに寄せられた相談とその支援の状況も掲載いたしました。こうあってほしいというようなご意見やご要望などもお寄せいただけると幸いです。これからも地域住民の方々のお手伝いができるよう頑張っていきたいと思います。（広報部一同）